

事業所名

リバティキッズ ブーケ（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

6 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念	みんなで一緒に幸せになろう		
支援方針	本人や家族、関係者が、みんなで子育て・発達の目的を共有し、困り感を減らしていけるようにする。また、困った時に頼れる場所であり続けること。		
営業時間	10 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身辺自立のスキルの獲得を目指します。本人のできる範囲を見極めながら支援の量を調節していき、日常生活に必要な活動を自分一人で行えるように練習します。 ・子どもがわかりやすいように必要に応じて目立たせたり隠したりして、わからないを無くして【自分でできるよ】の支援を提供します。 ・「自分でやりたい」という気持ちを育てていきます。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体について学びます。自分の体の形を知ることから始まり、体の動かし方を学びます。全身を使った大きく体を動かす動作や書字や箸、紐結びなどの日常生活に必要な細かい手指動作の獲得を目指します。 ・感覚の問題は一緒に対応を考えていきましょう。苦手な感覚を軽減できそうなら挑戦し、難しい場合は代案を考えましょう。好きすぎてしまう感覚や他者に迷惑がかかるこだわりなどの対応も行います。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・同じものと違うもの、似ているけど違うもの、「こうすると、こうなるだろうな」と答えが一つであるものについての理解を深めていきます。 ・基礎的な繋がり理解ができるようになったら、「答えが一つではないものもある」という理解学習を行っていきます。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの楽しさを学びます。個々の理解力に合わせた方法で支援を行い、「自分の思いが伝わる」「相手の思いがわかる」という経験しながら「もっとコミュニケーションがしたい」と思えるように支援します。 ・その中で要求することや拒否することなど適切なコミュニケーション方法を学んでいきます。 ・コミュニケーション方法は音声（会話）だけに限らず、いろいろな代替方法（PECSやACC）を用いてコミュニケーションの獲得・練習を目指し、本人や周囲の人の困り感を減らせるように支援しています。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・「一緒も楽しい」を目指します。お友達との関わりを通じて「誘って・誘われて」の練習を行います。 ・「やめて」と言われたらやめられること、「まって」と言われたら待てることを学びます。 ・「他者と関わるのは悪くないかも？」と思えるように支援します。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と祖父母に対してペアレント・プログラムやペアレント・トレーニングを行っています。 ・サポートブックの作成指導を行い、完成まで一緒に作っています。 ・子育て・療育についての相談支援を行っています。 ・兄弟児についても支援を行っています。 ・保育所等訪問支援にてより詳細な情報共有が行えます。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園や学校、関係各所に対してコンサルテーションを行っています。 ・園や学校などでの困りごとなどは協力して支援を行っています。 ・就学に向けての勉強会を行い、先輩ママの助言や反省点、頭の中にある心配などを他保護者と共有しています。 ・年長児を対象とした就学準備プログラムを1年を通して行っています。
地域支援・地域連携	発達障害を主として福祉活動全般での啓発を行っています。	職員の質の向上	支援に関わる者として高い職業人意識を持つこと、支援技術の向上を求めることを大切にしています。各種研修も行っています。
主な行事等	遠足や夏祭り、ハロウィンやクリスマスなどの季節のお祭りなどを行っています。		